

平成 26 年度

監 査 報 告 書 Ⅱ

(財政援助団体等監査)

飯 田 市 監 査 委 員

26 飯監第 57 号
平成 26 年 10 月 27 日

飯田市長 牧野 光 朗 様
飯田市議会議長 林 幸 次 様

飯田市監査委員 中 島 善 吉
飯田市監査委員 加 藤 良 一
飯田市監査委員 中 島 武津雄

監査結果の報告について

地方自治法第 199 条第 7 項の規定により実施した財政援助団体等監査の結果を、同条第 9 項の規定により報告します。

なお、同条第 12 項の規定により、監査結果に基づき、又は監査の結果を参考として措置を講じたときは、その旨を監査委員に通知してください。

- 1 株式会社 上村振興公社
- 2 舞台芸術鑑賞事業企画委員会
- 3 公益財団法人 南信州・飯田産業センター

1 監査の対象

名称 株式会社 上村振興公社（以下「公社」という。）
代表者 代表取締役 山崎 紀男
所在地 飯田市上村661
上記団体の所管部局
産業経済部観光課、産業経済部林務課及び飯田市美術博物館

2 監査の期間

平成26年8月11日から平成26年10月24日まで

3 監査の範囲

指定管理団体として、主に平成23年度から平成25年度及び平成26年度8月末までの事業に係る出納その他の事務の執行について監査の範囲とした。

4 監査の方法

公社に係る出納その他の事務について、次の事項を主眼として諸帳簿類を調査するとともに、関係職員等の説明を受けて行った。

(1) 所管部局関係

- ア 指定管理者に対して、条例やそれに基づく協定書等に沿って運営管理されているか。
 - (ア) 管理する施設及び業務の内容は明確か。
 - (イ) 指定管理者との間の経費の負担区分は明確か。
- イ 指定管理者に対する指導監督は適切に行われているか。

(2) 団体関係（指定管理者関係）

- ア 施設は関係法令（条例含む）の定めるところにより適切に管理されているか。
- イ 協定等に基づく義務の履行は適切に行われているか。
- ウ 利用促進のための努力はなされているか。

5 監査の結果

(1) 監査の結果

公社の事業運営は定款等に沿って行われており、事務処理については、おおむね適正に処理されているものと認めました。ただし、経営状況について、監査資料の閲覧及び面接時の内容聴取により、実態の厳しさを数値として確認することができました。よって以下に検討要望事項を添えるので業務の参考にされたい。

(2) 検討要望事項

- ア 経営状況については、既に認識され改善の検討も行われているが、指定管理元である主管部署にあっては早急に実情を把握・分析するとともに責任ある指導監督に努められたい。
- イ 公社が管理運営する観光施設等は、貴重な観光資源であり地域への貢献も大きいことから、今後における方向性を公社及び行政が連携し十分検討されたい。
- ウ 公社の健全な経営について、将来を見据えた経営計画を確立されたい。

(3) その他意見

- ア 各観光施設等における、非常・緊急事態におけるマニュアルの整備と定期的な危機管理訓練

を検討されたい。
イ 指定管理料について、算出根拠を精査するとともに、協定に添った運営に引き続き努められたい。

6 監査対象団体の概要等

(1) 設立の経過

公社が営む施設は、旧上村において直営で運営されていた。その後、平成 17 年に飯田市との合併を経て直営を継続してきたが、指定管理制度の導入のため、平成 23 年 2 月に株式会社を設立し、平成 23 年 4 月 1 日より指定管理者として創業している。

(2) 事業目的（公社定款第 2 条より）

次の事業を営むことを目的とする。

- ア 宿泊施設の経営
- イ 農林畜水産物の加工販売
- ウ 食品調理、加工、販売
- エ 飲食店の経営
- オ 喫茶店の経営
- カ キャンプ場、テニス場の経営
- キ 食品加工施設等の貸付
- ク 観光・農業・文化施設の管理
- ケ 前各号に附帯する一切の業務

(3) 公社が運営管理している施設（指定管理施設）

- ア 飯田市上村若者センター → 通称名：喫茶かみ
- イ 飯田市上村簡易宿泊施設 → 通称名：高原ロッジ下栗
- ウ 飯田市農産物直売施設 → 通称名：直売所、はんば亭、村の茶屋
- エ 飯田市特産物加工施設 → 通称名：上村農産物加工施設（貯蔵施設）
- オ 飯田市上村観光施設 → 通称名：ハイランドしらびそ高原施設、大島河原河川公園、大平公園
- カ 飯田市上村木材工芸品加工販売施設（平成 24 年 10 月から指定管理）
→ 通称名：木工センターとちの木
- キ 飯田市上村山村文化資源保存伝習施設（平成 25 年 4 月から指定管理）
→ 通称名：まつり伝承館「天伯」、山村ふるさと保存館「ねぎや」

(4) (3)の施設の所管部局

- ア～オ 飯田市観光課（平成 26 年 4 月 1 日より）
 - カ 飯田市林務課（平成 26 年 4 月 1 日より）
 - キ 飯田市美術博物館（平成 26 年 4 月 1 日より）
- ※平成 23 年度から上記期間までの主管部署は上村自治振興センターである。

(5) 組織等（平成 26 年 8 月 1 日現在）

役員は、取締役 5 名（うち代表取締役 1 名）である。

従業員体制は、39 名で、うち本社 3 名、喫茶かみ 2 名、村の茶屋 6 名、ハイランドしらびそ高原施設 8 名、大平・大島河原河川公園 1 名、はんば亭 1 3 名、高原ロッジ下栗 1 名、山村文化資源保存伝習施設 2 名、農産物直売所 2 名、木工センター 1 名である。

(6) 財務状況等（公社各期決算報告書より）

ア 比較貸借対照表

（単位：円）

	平成 25 年度	平成 24 年度	平成 23 年度
流動資産	8,434,531	8,525,307	5,396,655
現金及び預金	4,251,138	5,827,352	4,782,006
たな卸資産	2,262,037	2,481,837	614,649
未収入金	1,901,085	—	—
未収還付法人税等	426	216,118	—
立替金	19,845	—	—
固定資産	221,669	159,111	272,916
有形固定資産	218,489	159,111	272,916
工具、器具、備品	92,762	159,111	272,916
一括償却資産	125,727	—	—
リサイクル預託金	3,180	—	—
資産の部合計	8,656,200	8,684,418	5,669,571
流動負債	11,425,940	7,181,321	2,968,072
買掛金	1,056,213	566,385	614,304
短期借入金	5,000,000	5,000,000	—
未払金	1,825,120	658,370	855,646
未払費用	1,536,815	900,406	992,722
未払法人税等	71,000	35,500	502,700
未払消費税等	1,885,500	—	—
預り金	51,292	20,660	2,700
固定負債	0	0	0
負債の部合計	11,425,940	7,181,321	2,968,072
株主資本	△ 2,769,740	1,503,097	2,701,499
資本金	1,550,000	1,550,000	1,550,000
繰越利益剰余金	△ 4,319,740	△ 46,903	1,151,499
純資産の部合計	△ 2,769,740	1,503,097	2,701,499
負債・純資産の部合計	8,656,200	8,684,418	5,669,571

イ 比較損益計算書

(単位：円)

	平成 25 年度	平成 24 年度	平成 23 年度
I 売上高	123,715,508	129,358,212	124,583,584
II 売上原価			
期首たな卸高	2,481,837	614,649	0
商品仕入高	23,940,047	26,383,793	24,432,975
材料仕入高	23,430,227	24,545,304	25,034,678
合計	49,852,111	51,543,746	49,467,653
期末たな卸高	2,262,037	2,481,837	614,649
期末たな卸高	47,590,074	49,061,909	48,853,004
売上総利益	76,125,434	80,296,303	75,730,580
III 販売費及び一般管理費	103,256,612	93,515,812	79,785,229
営業利益・損失	△ 27,131,178	△ 13,219,509	△ 4,054,649
IV 営業外収益 (雑入、利息)	22,947,694	12,102,270	6,144,598
V 営業外費用	18,353	10,163	435,750
経常利益・損失	△ 4,201,837	△ 1,127,402	1,654,199
VI 特別利益	0	0	0
VII 特別損失	0	0	0
税引前純利益	△ 4,201,837	△ 1,127,402	1,654,199
法人・住民・事業税	71,000	71,000	502,700
当期純利益・純損失	△ 4,272,837	△ 1,198,402	1,151,499

ウ 公の施設利用状況及び指定管理料

公の施設名 (通称名)	項目	25 年度	24 年度	23 年度
村の茶屋	利用状況(人)	9,461	11,409	11,207
	指定管理料(円)	570,400	570,400	419,400
はんば亭	利用状況(人)	21,632	21,967	13,957
	指定管理料(円)	427,600	427,600	150,600
高原ロッジ下栗	利用状況(人)	832	681	778
	指定管理料(円)	234,700	234,700	224,700
喫茶かみ	利用状況(人)	8,477	9,175	8,080
	指定管理料(円)	84,400	84,400	71,400
上村特産品直売所	利用状況(人)	11,558	12,790	12,733
	指定管理料(円)	60,715	60,715	58,715
上村農産物加工施設	利用状況(人)	450	445	445
	指定管理料(円)	56,090	56,090	423,826
大島河原公園 (キャンプ場)	利用状況(人)	2,915	1,730	1,767
	指定管理料(円)	54,600	54,600	54,600
大平高原 (大平保養センター)	利用状況(人)	2,524	3,050	3,133
	指定管理料(円)	42,000	42,000	716,707
しらびそ高原施設 (ハイランドしらびそ)	利用状況(人)	63,824	68,921	36,809
	指定管理料(円)	7,434,350	7,327,350	10,723,825
木工センターとちの木	利用状況(人)	25	10	—
	指定管理料(円)	700,000	840,000	—
まつり伝承館 山村ふるさと保存館	利用状況(人)	1,362	—	—
	指定管理料(円)	2,011,000	—	—

注 1) 当該資料は、平成 25 年度決算審査資料より作成した。

注 2) 指定管理料の平成 23 年度の数值は指定管理料ではなく、消防設備保守点検、浄化槽保守点検、補助金等で飯田市からの直接支出である。

注 3) 木工センターとちの木は平成 24 年 10 月から、まつり伝承館は平成 25 年 4 月から指定管理となった。

舞台芸術鑑賞事業企画委員会

1 監査の対象

舞台芸術鑑賞事業企画委員会（以下「企画委員会」という。）

企画委員長 矢高仰児

事務所所在地 飯田市高羽町5丁目5-1 飯田文化会館内

上記団体の所管部局 飯田文化会館（以下「文化会館」という。）

2 監査の期間

平成26年8月11日から平成26年10月24日まで

3 監査の範囲

主として平成23年度から平成26年度の事務事業に係る出納その他の事務の執行について監査対象とした。

4 監査の方法

企画委員会に係る出納その他の事務事業について、次の事項を主眼として諸帳簿類を調査するとともに、関係職員の説明を受けて行った。

- (1) 規約及び経理等に関する諸規程は整備されているか。
- (2) 設立目的に沿った事業運営が行われているか。また、負担金は目的に沿って適切かつ効率的に執行されているか。
- (3) 関係帳票の整備、記録は適正か。また、領収書等の証拠書類の整備、保存は適切か。
- (4) 収支の会計経理は適正か。また、経費節減は図られているか。
- (5) 所管部局による指導監督は適切に行われているか。

5 監査の結果

(1) 監査の結果

企画委員会の事業運営は規則に沿って行われており、事務処理については、おおむね適正に処理されているものと認めましたが、事務事業等について検討要望事項を添えるので業務の参考にされたい。

(2) 検討要望事項

ア 企画委員会の事務局について、設置及び業務内容について明確化されたい。

イ 決算書作成にあたり、事業全体の収支が確認できる様式を検討されたい。

ウ 各種公演における事故、災害等への危機管理体制を万全にされたい。

6 監査対象団体の概要等

(1) 設立

ア 設立経過

昭和63年市民が舞台芸術を鑑賞する機会を提供するため、文化会館が委嘱した「自主事業専門委員会」を組織し、年間事業計画の策定、事業ごとに公募した市民によって組織された「実行委員会」をつくり、事業の運営を行ってきた。平成20年に「舞台芸術鑑賞事業実行委員会」の名称としてきたが、平成25年4月に規約の見直しを行い「舞台芸術鑑賞事業企画委員会」として現在に至っている。

イ 団体の目的

飯田文化会館主催による舞台芸術鑑賞事業を実施することを通して、飯田市民が心豊かに暮らすことができるための一助となることを目的とする。

(2) 飯田市負担金の状況（決算ベース）

平成 23 年度 200 千円（収入総額 3,702 千円の 5.4%）

平成 24 年度 3,600 千円（収入総額 4,714 千円の 76.4%）

平成 25 年度 1,000 千円（収入総額 7,487 千円の 13.3%）

予算ベースでは、23 年までが 7,000 千円、24 年度以降は 4,500 千円である

(3) 組 織

役員は正副企画委員長、会計担当企画委員、監査委員である。役員任期は 2 年で再任を妨げないとなっている。

企画委員は 11 名である。監査委員は 2 名で企画委員より 1 名、外部監査委員 1 名である。

事務局体制は、事務局長（飯田文化会館館長）、事務局職員は文化会館事業係（係長 1 人、係員 3 人）である。

(4) 主な役割

ア 企画委員

年間事業計画策定、各事業の企画書(案)作成、予算書作成、実行委員会の組織、会計監査、年間事業実績

イ 各実行委員会

企画書(案)の検討、広報媒体の作成、広報宣伝、チケット販売、プログラム作成公演運営、事業結果まとめ

(5) 決算の状況

(単位：円)

項 目	平成 25 年度	平成 24 年度	平成 23 年度
前年度繰越金	4,039,995	4,047,672	5,271,091
飯田市負担金	4,500,000	4,500,000	7,000,000
雑入	528	227,398	
収入計	8,540,523	8,775,070	12,271,091
項 目	平成 25 年度	平成 24 年度	平成 23 年度
アラカルト	119,553	119,640	—
にこにこステージ	87,184	89,894	44,546
25 森は生きている	826,623	—	—
24 おおた芸術学校	—	473,791	—
鑑賞事業負担金	△564,955	2,611,239	961,451
事務費	541,764	540,511	417,422
支出計	1,010,169	3,835,075	1,255,579
差 引	7,530,354	4,939,995	10,847,672
一般会計戻入	3,500,000	900,000	6,800,000
次年度繰越金	4,030,354	4,039,995	4,047,672

(6) 実施事業・収支

ア 平成 23 年度

事業名称	販売数 入場者数	収入合計(円) (内チケット収入)	支出合計(円) (内公演料)	収 支(円)
能楽公演「飯田能」	892 人	3,645,572	4,607,023	△961,451
	866 人	(3,539,000)	(3,238,545)	
子育て支援事業 「にこにこステージ」3公演	347 組 660 人	56,000 (56,000)	100,546 (30,000)	△44,546
23 年度計		3,701,572	4,707,569	△1,005,997

イ 平成 24 年度

事業名称	販売数 入場者数	収入合計(円) (内チケット収入)	支出合計(円) (内公演料)	収 支(円)
おおた芸術学校附属オーケストラ「ジュネ ス」下伊那ジュニアバンド交流演奏会	376 人 323 人	193,000 (169,000)	666,791 (0)	△473,791
SCANDAL HALL TOUR2012	866 人 818 人	4,196,260 (4,108,800)	6,807,499 (5,847,413)	△2,611,239
コンサート ア・ラ・カルト 3公演	475 人 410 人	242,600 (242,100)	362,240 (100,000)	△119,640
子育て支援事業 「にこにこステージ」4公演	475 組 937 人	82,200 (82,200)	172,094 (62,444)	△89,894
24 年度計		4,714,060	8,008,624	△3,294,564

ウ 平成 25 年度

事業名称	販売数 入場者数	収入合計(円) (内チケット収入)	支出合計(円) (内公演料)	収 支(円)
劇団仲間公演 「森は生きている」	649 組 865 人	2,829,640 (2,309,000)	3,656,263 (2,940,000)	△826,623
飯田フォークフェスタ	941 人 856 人	4,334,000 (4,218,000)	3,769,045 (2,320,500)	564,955
コンサート ア・ラ・カルト 3公演	460 人 377 人	245,500 (244,500)	365,053 (100,000)	△119,553
子育て支援事業 「にこにこステージ」4公演	458 組 906 人	77,600 (77,600)	164,784 (52,274)	△87,184
25 年度計		7,486,740	7,955,145	△468,405

注1) 「森は生きている」公演の収入合計に芸術文化振興基金助成金 50 万円を含む

1 監査の対象

名称 公益財団法人南信州・飯田産業センター（以下「産業センター」という。）
代表者 牧野 光朗
所在地 飯田市上郷別府 3338 番地 8
上記団体の主管部署 産業経済部工業課

2 監査の期間

平成 26 年 8 月 11 日から平成 26 年 10 月 24 日まで

3 監査の範囲

負担金交付にかかる財政援助団体として、主として平成 23 年度から平成 25 年度及び平成 26 年度 8 月末までの事業に係る出納その他の事務の執行について監査の範囲とした。

4 監査の方法

産業センターに係る出納その他の事務について、次の事項を主眼として諸帳簿類を調査するとともに、関係職員等の説明を受けて行った。

(1) 財政援助団体監査

ア 所管部局関係

- (ア) 補助金、交付金、負担金等その他の財政的援助（以下「補助金等」という。）の決定は法令等に適合しているか。
- (イ) 補助金等の交付目的及び補助等対象事業は明確か。また、公益上の必要性は十分か。
- (ウ) 補助金等の額の算定、交付方法、時期、手続きは適正か。
- (エ) 補助金等の効果及び条件の履行の確認は、実績報告書等によりなされているか。
- (オ) 補助金等の交付目的や効果等から判断して、統合、廃止等の見直しをする必要はないか。

イ 団体関係

- (ア) 事業計画書、予算書及び決算書等と所管部署へ提出した補助金等の交付申請書、実績報告書等は符合するか。
- (イ) 補助金等交付申請書の提出及び補助金等の請求、受領は適時に行われているか。
- (ウ) 事業は、計画及び交付条件に従って実施され、十分な効果が上げられているか。また、対象事業以外に流用されていないか。
- (エ) 出納関係帳票の整備、記帳は適正か。また、領収書等の証拠書類の整備、保存は適切か。
- (オ) 補助金等に係る収支の会計経理は適正か。また、会計処理上の責任体制は確立されているか。

(2) 出資団体監査

ア 所管部局関係

- (ア) 出資の目的及び出資等の金額は妥当か。
- (イ) 出資による権利は財産台帳に登録され、決算書類に適正に表示されているか。
- (ウ) 出資者としての権利行使は適切に行われているか。
- (エ) 出資等対象団体の経営成績及び財政状態を充分把握し、適切な指導監督を行っているか。
- (オ) 財産、備品、車両の管理は良好に行われているか。

イ 団体関係

- (ア) 定款又は規約並びに経理規程等諸規定は整備されているか。
- (イ) 設立目的（出資目的）に沿った事業運営が行われているか。

- (ウ) 決算諸表等は作成されているか。また、事業成績、財政状態は適正に決算諸表等に表示されているか。
- (エ) 経営成績及び財政状態は良好か。
- (オ) 収益率、財務比率は良好か。また、人件費の内容、金額は事業規模に比し適切か。
- (カ) 関係帳票の整備及び記帳は適正か。また、領収書等の証拠書類の整備及び保存は適切か。
- (キ) 収支の会計経理、財産管理（固定資産、有価証券、動産等）及び資金の運用は適切か。また経費節減は図られているか。
- (ク) 会計処理上の責任体制は確立されているか。
- (ケ) 役員・組織は機能しているか。また、監事監査の実施状況は適切か。
- (コ) 金庫管理、現金、公印の管理等についての内部統制組織は機能しているか。

5 監査の結果

(1) 監査の結果

産業センターの事業運営は定款及び各規則に沿って行われており、事務処理については、おおむね適正に処理されているものと認めましたが、以下に検討要望事項を添えるので業務の参考にされたい。

(2) 検討要望事項

ア 産業センターが所有する備品類は、重要な財産であることから、存在及び状態の確認など適切な管理に努められたい。

イ 産業センター利用者等の安全確保のため、危機管理マニュアル等の早急な整備に努められたい。

(3) その他意見

ア 地域産業の活性化のため、引き続き有効な事業展開に期待します。

イ 各種負担金の負担割合ルールについて、定めてから長年経過していることから、将来を見据えた負担のあり方等について、産業センター及び行政が連携し検討されたい。

6 監査対象団体の概要等

(1) 目的

飯田下伊那における地域内産業の健全な発展を図るため、企業の自立的で創造的な活動を支援する事業等を行うと共に、施設の管理運営に関する事業を行い、活力ある地域経済社会の形成と基盤強化に貢献し、もって地域住民の生活向上と福祉の増進に寄与することを目的とする。

(2) 設立経過

昭和 58 年 7 月 29 日	法人設立
昭和 59 年	産業センター I I D A 建設
昭和 62 年	工業技術センター設置
平成 9 年	飯田ビジネスネットワーク支援センター設立
平成 11 年	飯田 EMC センター整備
平成 24 年 4 月 1 日	公益財団法人へ移行
平成 25 年	宇宙産業クラスター事業拠点工場整備

(3) 事業内容

目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- ア 新製品又は新技術開発の研究支援に関する事業
- イ デザイン開発又はブランド化支援に関する事業
- ウ 地場産品普及のための展示、販売、実演等の支援に関する事業
- エ 人材養成のための教育研修及び実習に関する事業
- オ 経営相談、技術相談及び指導に関する事業
- カ 情報の収集及び提供に関する事業
- キ 産業技術に関する試験、検査、分析、評価、証明書等の発行及び技術的支援等に関する事業
- ク 産業センターの管理運営に関する事業
- ケ 工業技術センター及び飯田EMCセンターの管理運営に関する事業
- コ ビジネスネットワーク支援センターの運営に関する事業
- サ 航空宇宙産業クラスター拠点施設の管理運営に関する事業
- シ アからサまでに掲げるもののほか、目的を達成するために必要と認める事業

(4) 組織（平成26年6月23日改正）

- ア 評議員 定款第10条に定めのある評議員は5名以上15名以内。
- イ 役員 定款第23条に定めのある役員は、理事5名以上15名以内（うち、1名を理事長、3名以内を副理事長、1名を専務理事とする）、監事2名以内。
- ウ 事務局 処務規程第4条及び第5条により事務局が置かれている。

(5) 財務状況等

ア 収支決算の比較

(単位：円)

科 目	平成25年度	平成24年度	平成23年度
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
①基本財産運用収入	568,180	683,070	727,162
②事業収入	56,814,279	59,706,054	62,837,572
③補助金等収入(国、県等)	146,942,301	19,283,501	40,374,682
④負担金収入(市町村等)	100,072,516	77,936,393	86,267,463
⑤雑収入	481,201	191,219	557,116
事業活動収入計	304,878,477	157,800,237	190,763,995
2. 事業活動支出(①～⑩公共事業)			
①各事業共通支出	31,990,076	31,786,099	31,829,297
②施設利用事業支出	12,894,451	14,601,472	22,772,845
③産業振興事業支出	10,595,020	13,801,097	26,452,073
④人材養成事業支出	9,342,160	12,483,088	20,899,059
⑤支援センター運営事業支出	6,786,946	6,556,607	5,753,965
⑥工業技術センター運営事業支出	30,840,596	28,515,303	27,763,348
⑦新クラスター事業支出	8,737,015	12,033,587	963,262
⑧三遠南信連携推進事業支出	5,828,820	6,862,731	11,351,242
⑨南信州活性化事業支出	100,655	3,564,000	143,467
⑩施設利用・販売事業支出	7,861,047	8,490,291	0
⑪法人管理支出	7,037,641	6,107,327	6,400,150
事業活動支出計	132,014,427	144,801,602	154,328,708
事業活動収支差額	172,864,050	12,998,635	36,435,287
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	69,998,696	0	71,007,249

2. 投資活動支出			
①基本財産取得支出	20,000,000	12,736	69,007,249
②特定資産取得支出	6,600,000	6,600,000	73,857,249
③固定資産取得支出	418,516,950	2,299,350	15,134,600
投資活動支出計	445,116,950	8,912,086	157,999,098
投資活動収支差額	△375,118,254	△8,912,086	△86,991,849
Ⅲ 財政活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	368,517,000	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	50,000,000	0	0
財務活動収支差額	318,517,000	0	0
当期収支差額	116,262,796	4,086,549	△50,556,562
前期繰越収支差額	73,042,076	68,955,527	119,512,089
次期繰越収支差額	189,304,872	73,042,076	68,955,527

イ 貸借対照表の比較

(単位：円)

科 目	平成 25 年度	平成 24 年度	平成 23 年度
I 資産の部			
1. 流動資産			
預金	48,726,473	43,804,053	20,211,975
未収金	145,269,123	29,924,624	51,082,728
仮払金	64,575	163,170	—
流動資産合計	194,060,171	73,891,847	71,294,703
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
建物・建物附属設備(基)	187,156,657	199,270,720	212,276,310
構築物(基)	3,639,490	3,981,649	4,349,161
定期預金(基)	56,203,953	86,202,649	86,202,649
投資有価証券(基)	50,056,189	70,488,602	70,843,044
基本財産合計	297,056,289	359,943,620	373,671,164
(2) 特定資産			
建設改良引当資産(特)	19,800,000	13,200,000	6,600,000
測定機器購入引当資産(特)	3,400,000	3,400,000	3,400,000
財政調整引当資産(特)	—	0	0
建物・建物附属設備(特)	326,429,950	0	—
機械装置(特)	44,561,405	48,983,003	53,951,211
什器備品(特)	5,942,835	18,545,664	35,310,134
特定資産合計	400,134,190	84,128,667	99,261,345
(3) その他固定資産			
建物・建物附属設備	16,910,459	18,134,426	20,172,857
構築物	2,827,363	3,269,386	3,769,666
車両運搬具	18,228	73,215	261,702
什器備品	6,016,681	11,389,592	23,012,845
ソフトウェア	275,625	354,375	—
建設仮勘定	90,706,500	0	—
長期前払費用	519,167	0	—
出資金	5,000	0	—
電話加入権	193,424	193,424	193,424
保証金	33,760	33,760	33,760
その他固定資産合計	117,506,207	33,448,178	47,444,254
固定資産合計	814,696,686	477,520,465	520,376,763
資産合計	1,008,756,857	551,412,312	591,671,466
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	4,570,365	657,894	2,042,941
前受金	—	—	70,000

預り金	184,934	190,877	226,235
短期借入金	318,517,000	0	—
仮受金	0	1,000	—
流動負債合計	323,272,299	849,771	2,339,176
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	323,272,299	849,771	2,339,176
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
国庫補助金(対象残存)	219,652,696	100,564,256	112,704,898
地方公共団体出損金	13,000,000	13,000,000	12,000,000
民間出損金	5,198,856	5,000,000	5,000,000
地方公共団体補助金(対象)	94,336,387	67,305,114	79,550,313
民間助成金	—	229,360	0
受取寄付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000
指定正味財産合計	333,187,939	187,098,730	210,255,211
(うち基本財産への充当額)	113,620,699	119,570,063	120,993,866
(うち特定資産への充当額)	219,567,240	67,528,667	89,261,345
2. 一般正味財産	352,296,619	363,463,811	379,077,079
(うち基本財産への充当額)	183,435,590	240,373,557	252,677,298
(うち特定資産への充当額)	180,566,950	16,600,000	10,000,000
正味財産合計	685,484,558	550,562,541	589,332,290
負債及び正味財産合計	1,008,756,857	551,412,312	591,671,466

ウ 正味財産増減計算書(概要)の比較

(単位:円)

科 目	平成 25 年度	平成 24 年度	平成 23 年度
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	568,180	683,070	727,162
② 特定資産運用益	—	—	0
③ 事業収益	56,814,279	59,706,054	62,837,572
④ 受取補助金等	30,853,092	41,345,982	62,707,894
⑤ 受取負担金	70,072,516	79,030,393	86,267,463
⑥ 受取寄付金	—	—	0
⑦ 雑収益	481,201	191,219	557,116
経常収益計	158,789,268	180,956,718	213,097,207
(2) 経常費用(①~⑩公益事業)			
① 各種共通事業	32,128,152	31,976,926	—
② 施設利用事業	20,181,626	22,916,053	38,850,642
③ 産業振興事業	10,851,262	13,930,632	26,452,073
④ 人材養成事業	9,342,160	12,483,088	20,899,059
⑤ 支援センター運営事業	6,786,946	6,556,607	5,753,965
⑥ 工業技術センター運営事業	54,565,198	64,671,032	65,134,144
⑦ 新クラスター事業	8,742,848	12,033,587	963,262
⑧ 三遠南信連携推進事業	5,828,820	6,862,731	11,351,242
⑨ 南信州活性化事業	100,655	3,564,000	143,467
⑩ 施設利用事業支出	13,067,160	13,993,460	—
⑪ 管理費(法人会計)	7,929,220	7,078,475	—
⑫ 事業共通費・管理費	—	—	39,584,237
経常費用計	169,524,047	196,066,591	209,132,091
当期経常増減額	△ 10,734,779	△ 15,109,873	3,965,116

2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
①有価証券評価損	432,413	367,178	162,368
②固定資産除却損	0	136,217	4,038,908
③過年度補助金減額損失	—	—	0
経常外費用計	432,413	503,395	4,201,276
当期経常外増減額	△ 432,413	△ 503,395	△ 4,201,276
当期一般正味財産増減額	△ 11,167,192	△ 15,613,268	△ 236,160
一般正味財産期首残高	363,463,811	379,077,079	379,313,239
一般正味財産期末残高	352,296,619	363,463,811	379,077,079
II 指定正味財産増減の部			
①受取補助金等	169,063,000	1,240,000	12,850,000
②一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 22,973,791	△ 24,396,481	△ 35,183,212
当期指定正味財産増減額	146,089,209	△ 23,156,481	△ 22,333,212
指定正味財産期首残高	187,098,730	210,255,211	232,588,423
指定正味財産期末残高	333,187,939	187,098,730	210,255,211
III 正味財産期末残高	685,484,558	550,562,541	589,332,290

(6) 飯田市からの負担金額及び町村、業界との運営費負担割合 (単位：円)

負担金名	平成 25 年度	平成 24 年度	平成 23 年度
南信州・飯田産業センター負担金※	43,200,000	43,200,000	43,200,000
ビジネスネットワーク支援センター負担金	2,520,000	2,520,000	2,520,000
南信州産業活性化協議会負担金	41,000	40,000	40,000
飯田産業技術大学開催事業負担金	2,700,000	2,651,000	2,850,000
地域産品ブランド化事業負担金	3,300,000	3,679,000	3,956,000
三遠南信連携推進事業負担金	1,390,000	1,251,000	993,091
新産業クラスター事業費負担金	—	1,000,000	323,262
ものづくり製品開発等支援事業補助金	3,278,000	4,650,000	4,071,000
航空宇宙産業クラスター拠点整備事業負担金	30,000,000	—	—
EMCシンポジウム開催事業負担金	—	372,000	400,000
環境技術開発センター管理費負担金	—	2,060,000	2,058,544

※平成 23 年度及び 24 年度は、飯伊地域地場産業振興センター負担金として支出（公益財団法人化により負担金の名称が変更となった）

平成 25 年度の運営負担割合は以下の通り。

負担金名	飯田市	町村会	業界
地場産業センター	87%	13%	(使用料)
工業技術センター	70%	27%	3%
建設(設備)改良引当積立資金※	81%	19%	0%
EMCセンター	69%	31%	(使用料)
支援センター	37%	13%	50%

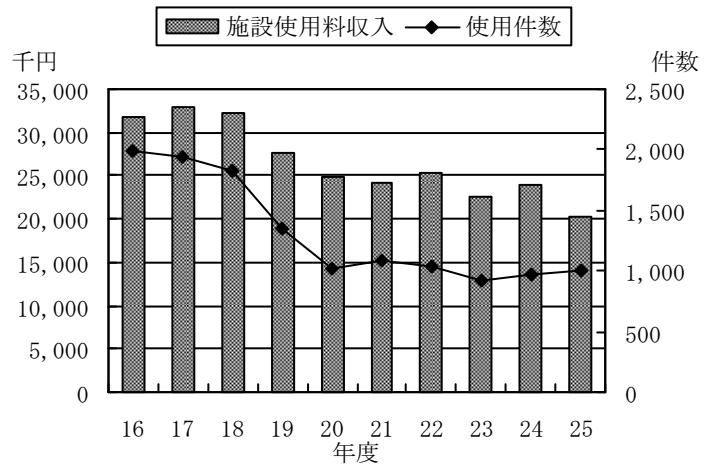
※高度化資金返済完了後は行政のみ建設改良積立目的に同率割合で負担

(7) 各事業における状況推移（平成16年度～平成25年度）

ア 施設利用事業

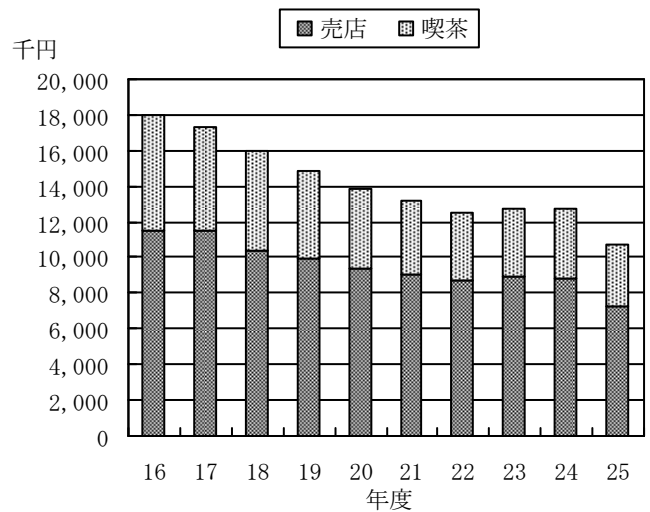
産業センター I I D A 「施設利用」状況

年度	使用件数 (件)	入場者数 (人)	施設使用料 収入(円)
16	1,982	68,225	31,805,844
17	1,934	67,407	32,838,760
18	1,829	68,632	32,234,160
19	1,345	46,683	27,686,966
20	1,017	45,355	24,760,105
21	1,081	38,948	24,205,033
22	1,029	44,079	25,236,284
23	918	45,960	22,680,332
24	973	47,511	23,918,876
25	1,004	46,739	20,298,108



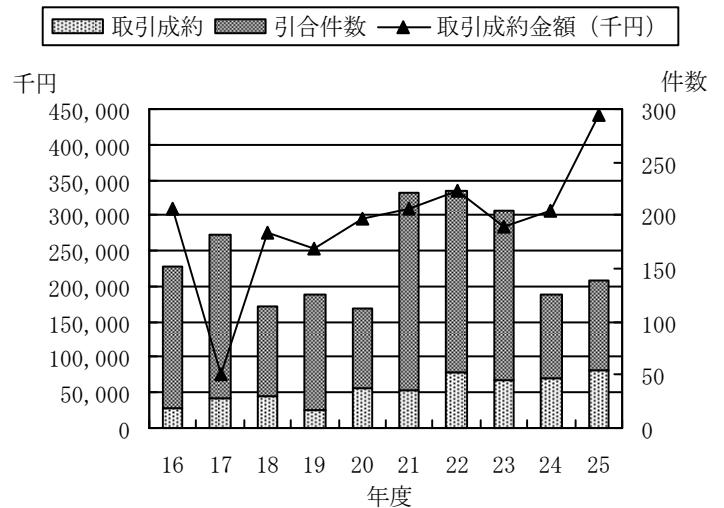
産業センター I I D A 「売店・喫茶利用」状況

年度	売店 (円)	喫茶 (円)	合計 (円)
16	11,506,225	6,471,476	17,977,701
17	11,453,982	5,890,438	17,344,420
18	10,446,672	5,532,643	15,979,315
19	9,924,580	4,907,551	14,832,131
20	9,414,192	4,489,200	13,903,392
21	9,075,368	4,136,165	13,211,533
22	8,707,724	3,758,240	12,465,964
23	8,991,046	3,719,070	12,710,116
24	8,871,399	3,821,550	12,692,949
25	7,299,287	3,403,080	10,702,367



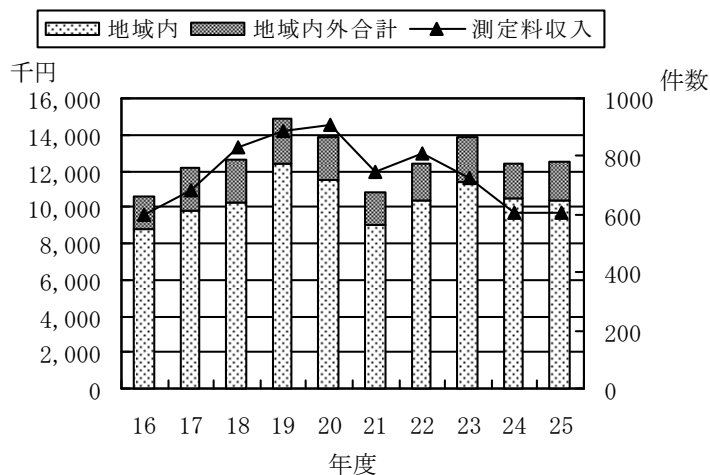
飯田ビジネスネットワーク支援センター営業実績

年度	引合件数 (件)	取引成約 (件)	取引成約金額 (千円)
16	151	18	310,476
17	181	28	76,558
18	114	30	275,642
19	126	16	254,294
20	112	38	295,453
21	222	36	308,326
22	223	52	334,768
23	205	45	284,735
24	126	47	306,641
25	139	54	442,773



工業技術センター利用状況

年度	地域内 (件)	地域内外 合計(件)	測定料収入 (円)
16	547	664	9,530,230
17	616	763	10,926,385
18	642	789	13,310,805
19	775	932	14,192,410
20	721	863	14,562,665
21	561	673	11,889,370
22	645	773	13,013,615
23	708	864	11,607,660
24	653	776	9,707,550
25	650	782	9,709,030



飯田EMCセンター利用状況

年度	飯伊 (件)	飯伊・県内 外合計 (件)	使用料収入 (円)
16	36	132	28,984,704
17	48	151	30,911,757
18	60	185	29,049,161
19	54	156	18,544,548
20	63	158	25,388,460
21	56	134	18,430,305
22	90	152	17,618,425
23	87	168	22,936,222
24	62	150	21,157,010
25	69	129	22,795,505

